

かんちゃん通信

令和元年7月19日(金)発行 文責：林 寛

～親子清掃～

12日(金)に親子清掃がありました。短い時間でしたが、子どもたちも保護者の皆さんも一生懸命掃除に取り組んでいただき、園内がとても綺麗になりました。ありがとうございました。

教育の世界に昔から「師弟同行」という言葉があります。「していどうぎょう」と読むそうです。私は大学生の頃、教育実習中に附属小学校の担当の先生から教えていただきました。

教師と教え子は、同じ行動をとることが教育の基本である、という意味だと指導を受けました。大切な言葉だと思います。

私は、今回の親子清掃の様子を見て、この言葉を久しぶりに思い出しました。多くの子どもたちが自分の親と同じ場所で、同じ活動をしています。子どもだから、上手にすることはできません。しかし、上手に掃除することが目的ではなく、親子で一緒に同じ活動することに意味があると感じました。

子どもは親の背中を見て育つ、ということもよく言われます。「躰(しつけ)」は、子どもに厳しく言うだけではなく、親の行動を真似させることでもできるものだと思います。感心する姿をたくさん見せていただきました。ありがとうございました。



～夏まつり～

18日(木)に園内で夏まつりがありました。年長さんが色々なお店を出し、年中さんや年少さんがお客さんとなって訪れます。買い物を楽しむ姿や、ステージでは音楽に合わせて歌や踊りを披露してくれる姿を見ることができました。とても楽しいお祭りでした。

明日から、長い夏休みが始まります。怪我や事故に注意して、すべての子どもが、元気に楽しく過ごすことを願っています。

